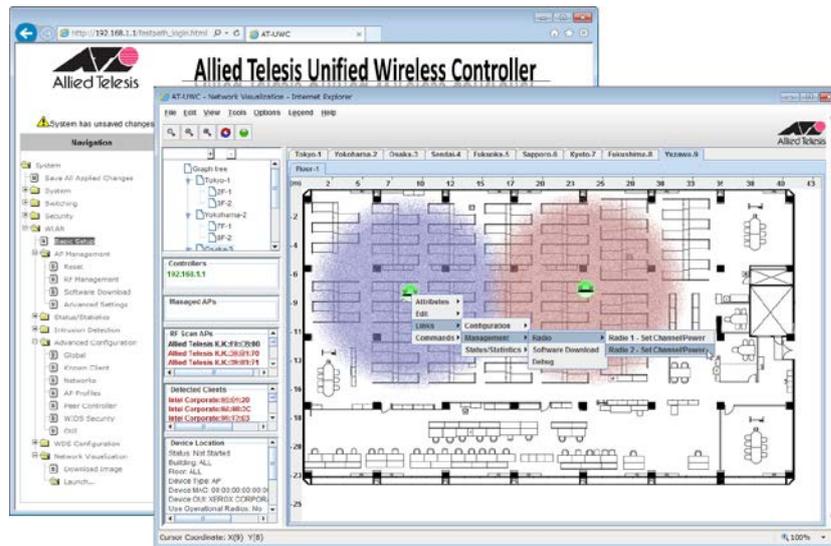


## Allied Telesis Unified Wireless Controller



Wireless LAN

Allied Telesis Unified Wireless Controller® (UWC) は、最大210台までの無線LANアクセスポイント (AP) AT-TQ2450・AT-TQ3200・AT-TQ3400・AT-TQ3600・AT-TQ4400・AT-TQ4400e・AT-TQ4600を一括管理できる無線LANアクセスポイントコントローラーです。

APの自動検出と設定情報の導入、2.4GHz/5GHzごとのチャンネルと送信出力の制御、また管理対象無線LANのGUIによる監視も行うことができます。

**本製品をご購入の際には、有償サポートサービスのご契約が必須です。**  
製品に有償サポートサービス(ソフトウェアダウンロードサービス)の加入権をバンドルした型番をご用意しています。

### 特長

#### ● Plug and Play

APを自動検出し、あらかじめUWC内に設定したAP設定を自動的にAPに導入できますので、設置場所・用途に応じて各APを最適な設定でお使いいただけます。AP設定は最大128個まで保持することができます。

#### ● Radio Management<sup>※3</sup>

APの導入後、各APをリアルタイムに監視します。状況に応じて最適なチャンネルや電波出力を自動的に決定し、調整します。これにより、電波干渉を回避し、安定した無線LANネットワーク環境をご提供します。

#### ● SSIDごとの Known Client Group

MACアドレスをグループ化し、SSIDごとにグループを適用できます。「営業」や「総務」など、職種ごとにグループを作成すれば、職種に応じたSSIDへのアクセス制御ができます。

#### ● Authentication

WPA/WPA2-エンタープライズ方式によるIEEE 802.1X認証、MAC認証、Web認証の3方式に対応し、さらにこれらの認証を単一の無線クライアントに対して併用することが可能です。

#### ● UWC クラスタ

複数のUWCをグルーピングし、各UWC配下のAPステータスや接続されている無線クライアント情報をクラスタコントローラーと呼ばれるマスター機で無線LAN全体を一括監視することができます。さらに、クラスタコントローラーの設定情報を他のUWCに配信することができ、無線LAN管理工数を削減可能です。

#### ● Layer2/Layer3 Roaming

同一セグメント内でのローミングはもちろん、異なるセグメントに存在するAP間でのローミングにも対応します。通常はIPアドレス変更による通信断が発生する状況ですが、UWCを導入することで同一IPアドレスを保持したまま通信を継続することができます。Wi-Fi IP電話やタブレット端末によるデジタルサイネージのように移動しながら通信を継続する環境に最適です。

#### ● 拡張可能なAP管理台数

管理可能なAP台数は追加ライセンスでいつでも拡張可能です。1台のUWCで最大210APまで拡張することができ、スモールスタートから規模に合わせて拡張することができます。

#### ● 冗長性<sup>※1</sup>

UWCとの管理セッションが切断された場合でもAPがスタンドアロンモードに自動的に移行し、無線LANサービスを継続できます。

#### ● Wireless Device Location

管理下のAPや接続済み無線クライアントなどの位置情報を三角測量を利用した方法で算出し、Network Visualizationマップ上に表示することができます。無線デバイスの位置を従来より正確に把握することができ、デバイス管理や無線LANステータス管理が容易になります。

#### ● OTA (Over the Air) management<sup>※2</sup>

WDS経由でのAP管理に対応しました。ケーブルの配線が困難な場所や、一時的な無線LANの導入など、従来では導入が難しかった場所への集中管理無線LANの導入を可能とします。

※1 UWC V.2.0.0以降でサポート

※2 UWC V.3.0.0と、AT-TQ4600/AT-TQ4400/AT-TQ3400/AT-TQ3200 V.3.0.2の組み合わせでは未サポート

※3 導入時のサイトバイサイト試験は必ず実施してください。実施されていない場合、サポートをお受けできない場合があります。

# Allied Telesis Unified Wireless Controller

## 仕様

サーバー 動作環境 <sup>*1</sup>	CPU	3GHz以上のx86プロセッサ (1コア2スレッド、または2コア以上)																																																																																																																																																																																
	メモリー (RAM) 容量	1GB以上 <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																																
	ハードディスク容量	80GB以上																																																																																																																																																																																
	Network Interface	GbE × 1 (IEEE 802.1q対応)																																																																																																																																																																																
	光学ドライブ	DVDドライブ (ブート可能なもの)																																																																																																																																																																																
	ディスプレイ	VGA出力 (システムインストール時に必要)																																																																																																																																																																																
	キーボード	システムインストール時に必要																																																																																																																																																																																
	仮想化環境:																																																																																																																																																																																	
	● VMware vSphere ESXi 5.0/5.1/5.5/6.0 (Hypervisor) <sup>*3</sup>	OS: CentOS 5/6 (32 bit)、CPU設定 (仮想ソケット数): 1、CPU設定 (ソケットあたりのコア数): 2、SCSIコントローラー設定: LSI Logic パラレル、ハードディスク設定: シックプロビジョニング (Lazy Zeroed)、ネットワークアダプター設定: E1000																																																																																																																																																																																
	● Microsoft Windows Server 2008 R2 Hyper-V 2.0 <sup>*3</sup>	プロセッサ設定 (論理プロセッサ数): 2、ネットワークアダプター設定: ネットワークアダプター (レガシーネットワークアダプターでないこと)																																																																																																																																																																																
● Microsoft Windows Server 2012 Hyper-V 3.0	プロセッサ設定 (論理プロセッサ数): 2、ネットワークアダプター設定: ネットワークアダプター (レガシーネットワークアダプターでないこと)																																																																																																																																																																																	
● Microsoft Windows Server 2012 R2 Hyper-V	プロセッサ設定 (論理プロセッサ数): 2、ネットワークアダプター設定: ネットワークアダプター (レガシーネットワークアダプターでないこと)																																																																																																																																																																																	
● ハードドライブ設定 <sup>*4</sup> (次のいずれかの設定で作成した仮想ハードディスクであること):	容量可変 VHDX (BlockSize: 1MB) / 容量固定 VHDX / 容量可変 VHD / 容量固定 VHD																																																																																																																																																																																	
● Red Hat Enterprise Linux 6 KVM	qemu-kvmバージョン: 0.12.1.2、OS Type: Linux、Version: Generic 2.6.x Kernel、CPUs: 2、Virtual Network Interface (Device Model): e1000																																																																																																																																																																																	
動作確認済み サーバー環境 <sup>*5</sup>	CPU	Intel® Xeon® E3-1220 (3.10GHz, 8M cache)																																																																																																																																																																																
	メモリー (RAM容量)	1GB																																																																																																																																																																																
	ハードディスク	250GBシリアルATAドライブ																																																																																																																																																																																
	Network Interface	デュアルポートBroadcom BCM 5716 × 1																																																																																																																																																																																
設定環境	ブラウザ	Windows® Internet Explorer® 9 ~ 11																																																																																																																																																																																
機能	準拠規格 (国際規格) <sup>*6</sup>	IEEE 802.11、IEEE 802.11a (W52/W53/W56) <sup>*7</sup> 、IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n <sup>*7</sup> 、IEEE 802.11ac <sup>*7</sup>																																																																																																																																																																																
	準拠規格 (国内規格) <sup>*6</sup>	ARIB STD-T66、ARIB STD-T71																																																																																																																																																																																
	周波数帯域 <sup>*6</sup>	2.4GHz 2400 ~ 2483.5MHz 5GHz AT-TQ4600/AT-TQ4400/AT-TQ4400e/AT-TQ3600/AT-TQ3400/AT-TQ2450: 5150 ~ 5350MHz、5470 ~ 5725MHz AT-TQ3200: 5150 ~ 5250MHz																																																																																																																																																																																
	データ通信速度 <sup>*6</sup> <sup>*8</sup>	IEEE 802.11a/g : 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps IEEE 802.11b : 11/5.5/2/1Mbps IEEE 802.11n : AT-TQ4600/AT-TQ4400/AT-TQ3600: 6.5 ~ 450Mbps (MCS 0 ~ 23) : AT-TQ4400e/AT-TQ3400/AT-TQ3200/AT-TQ2450: 6.5 ~ 300Mbps (MCS 0 ~ 15) IEEE 802.11ac : AT-TQ4600: 6.5 ~ 1,300Mbps (MCS 0 ~ 9) : AT-TQ4400/AT-TQ4400e: 6.5 ~ 867Mbps (MCS 0 ~ 9)																																																																																																																																																																																
	チャンネル数 <sup>*6</sup>	IEEE 802.11a <sup>*7</sup> : 19チャンネル (W52/W53/W56) IEEE 802.11b : 13チャンネル IEEE 802.11g : 13チャンネル IEEE 802.11n (2.4GHz) : 13チャンネル IEEE 802.11n (5GHz) <sup>*7</sup> : 19チャンネル IEEE 802.11ac <sup>*7</sup> : 19チャンネル																																																																																																																																																																																
	重複しないチャンネル数	IEEE 802.11a : 19チャンネル (20MHz) IEEE 802.11b/g : 3チャンネル IEEE 802.11n (2.4GHz) : 3チャンネル (20MHz)、1チャンネル (40MHz) IEEE 802.11n (5GHz) : 19チャンネル (20MHz)、9チャンネル (40MHz) IEEE 802.11ac : 19チャンネル (20MHz)、9チャンネル (40MHz)、4チャンネル (80MHz)																																																																																																																																																																																
	管理対象機種	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">-</th> <th rowspan="2">-</th> <th colspan="10">UWC</th> </tr> <tr> <th>V.1.0.0</th> <th>V.1.1.0</th> <th>V.2.0.1</th> <th>V.2.1.0</th> <th>V.3.0.x</th> <th>V.3.1.x</th> <th>V.3.2.0</th> <th>V.3.2.1</th> <th>V.3.3.0</th> <th>V.3.4.x</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AT-TQ2450</td> <td>V.1.1.x</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>AT-TQ2450</td> <td>V.1.2.0</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>AT-TQ3600</td> <td>V.2.0.0</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>AT-TQ2450 / AT-TQ3600</td> <td>V.2.0.1以降</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>AT-TQ3200 / AT-TQ3400 / AT-TQ4400 / AT-TQ4600</td> <td>V.3.0.2以降</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>AT-TQ2450 / AT-TQ3200 / AT-TQ3400 / AT-TQ3600 / AT-TQ4400 / AT-TQ4600</td> <td>V.3.1.0以降</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>AT-TQ2450 / AT-TQ3200 / AT-TQ3400 / AT-TQ3600 / AT-TQ4400 / AT-TQ4600</td> <td>V.3.1.2以降</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>AT-TQ4400e</td> <td>V.3.2.0</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">AT-TQ2450 / AT-TQ3200 / AT-TQ3400 / AT-TQ3600 / AT-TQ4400 / AT-TQ4400e / AT-TQ4600</td> <td>V.3.2.1</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>V.3.2.3</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>V.3.3.x</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>V.3.4.x</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		-	-	UWC										V.1.0.0	V.1.1.0	V.2.0.1	V.2.1.0	V.3.0.x	V.3.1.x	V.3.2.0	V.3.2.1	V.3.3.0	V.3.4.x	AT-TQ2450	V.1.1.x	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AT-TQ2450	V.1.2.0	×	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	AT-TQ3600	V.2.0.0	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	AT-TQ2450 / AT-TQ3600	V.2.0.1以降	×	×	○	○	△	△	△	△	△	△	△	AT-TQ3200 / AT-TQ3400 / AT-TQ4400 / AT-TQ4600	V.3.0.2以降	×	×	×	×	○	△	△	△	△	△	×	AT-TQ2450 / AT-TQ3200 / AT-TQ3400 / AT-TQ3600 / AT-TQ4400 / AT-TQ4600	V.3.1.0以降	×	×	△	△	△	○	△	△	△	△	△	AT-TQ2450 / AT-TQ3200 / AT-TQ3400 / AT-TQ3600 / AT-TQ4400 / AT-TQ4600	V.3.1.2以降	×	×	△	△	△	○	○	△	△	△	△	AT-TQ4400e	V.3.2.0	×	×	×	×	×	×	△	△	△	△	△	AT-TQ2450 / AT-TQ3200 / AT-TQ3400 / AT-TQ3600 / AT-TQ4400 / AT-TQ4400e / AT-TQ4600	V.3.2.1	×	×	×	×	×	×	○	△	△	△	△	V.3.2.3	×	×	×	×	×	×	△	○	△	△	△	V.3.3.x	×	×	×	×	×	×	△	△	○	△	△	V.3.4.x	×	×	×	×	×	×	△	△	△	△	○
	-	-	UWC																																																																																																																																																																															
			V.1.0.0	V.1.1.0	V.2.0.1	V.2.1.0	V.3.0.x	V.3.1.x	V.3.2.0	V.3.2.1	V.3.3.0	V.3.4.x																																																																																																																																																																						
	AT-TQ2450	V.1.1.x	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																																																																																																																																																																					
AT-TQ2450	V.1.2.0	×	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×																																																																																																																																																																						
AT-TQ3600	V.2.0.0	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△																																																																																																																																																																						
AT-TQ2450 / AT-TQ3600	V.2.0.1以降	×	×	○	○	△	△	△	△	△	△	△																																																																																																																																																																						
AT-TQ3200 / AT-TQ3400 / AT-TQ4400 / AT-TQ4600	V.3.0.2以降	×	×	×	×	○	△	△	△	△	△	×																																																																																																																																																																						
AT-TQ2450 / AT-TQ3200 / AT-TQ3400 / AT-TQ3600 / AT-TQ4400 / AT-TQ4600	V.3.1.0以降	×	×	△	△	△	○	△	△	△	△	△																																																																																																																																																																						
AT-TQ2450 / AT-TQ3200 / AT-TQ3400 / AT-TQ3600 / AT-TQ4400 / AT-TQ4600	V.3.1.2以降	×	×	△	△	△	○	○	△	△	△	△																																																																																																																																																																						
AT-TQ4400e	V.3.2.0	×	×	×	×	×	×	△	△	△	△	△																																																																																																																																																																						
AT-TQ2450 / AT-TQ3200 / AT-TQ3400 / AT-TQ3600 / AT-TQ4400 / AT-TQ4400e / AT-TQ4600	V.3.2.1	×	×	×	×	×	×	○	△	△	△	△																																																																																																																																																																						
	V.3.2.3	×	×	×	×	×	×	△	○	△	△	△																																																																																																																																																																						
	V.3.3.x	×	×	×	×	×	×	△	△	○	△	△																																																																																																																																																																						
	V.3.4.x	×	×	×	×	×	×	△	△	△	△	○																																																																																																																																																																						
○: サポートしている組み合わせ																																																																																																																																																																																		
△: 無線コントローラーによるアクセスポイントのアップグレードのみをサポートしている組み合わせ																																																																																																																																																																																		
△2: UWC V.3.4.xの新機能やエンハンス項目以外をサポートしている組み合わせ																																																																																																																																																																																		
×: サポートしていない組み合わせ																																																																																																																																																																																		
*: ファームウェアのダウングレードは未サポート																																																																																																																																																																																		

## 仕様

機能 (つづき)	管理対象上限	最大210AP/システム (1UWC) 最大64UWC/UWC クラスターグループ 最大2000AP/UWC クラスターグループ 最大8000 クライアント/UWC クラスターグループ
	AP 検出	Layer2 (管理 VLAN) Layer3 (手動または CSV ファイルインポートによる IP アドレスリスト)
	AP 設定	AP 個別認証 (手動または CSV ファイルインポート登録)、 AP プロファイル (最大128個まで設定可能) による AP ごとの自動設定および複数 AP への設定一括導入、 ファームウェアの一括更新
	無線電波管理 <sup>※9</sup>	2.4GHz/5GHz チャンネル自動調整および送信電力自動調整機能、無線クライアントロードバランス、 2.4GHz/5GHz カバレッジホール検出および電波出力の自動最適化
	セキュリティ	VAP (SSID、最大255個まで設定可能) ごとのセキュリティ設定、最大32個の認証用外部 RADIUS サーバー指定
	認証方式	MAC アドレス認証 (ローカル、外部 RADIUS、最大5000 クライアント)、 Known Client のグループ単位での認証 (ローカル: 最大255 グループ)、 キャプティブポータルによる認証 (ローカル、外部 RADIUS、最大1024 クライアント)、 IEEE 802.1X 認証 (WPA/WPA2-Enterprise、EAP 認証: EAP-TLS、EAP-TTLS/MSCHAPv2、PEAPv0/EAP-MSCHAPv2、 PEAPv1/EAP-GTC、EAP-SIM、EAP-AKA、EAP-FAST)、 オープンシステム、WPA/WPA2-PSK (事前共有鍵方式)、WPA/WPA2-Enterprise 認証時のダイナミック VLAN
	暗号化方式 <sup>※6</sup>	WEP (64/128bit)、ダイナミック WEP、TKIP、AES
	モビリティ	Layer2/Layer3 Fast Roaming、Dynamic Key Caching/Forwarding、UWC 間のローミング
	データ転送方式	VLAN Forwarding、Centralized Tunneling、Distributed Tunneling
	WIDS <sup>※10</sup>	2種類の AP 動作モード (Normal Operation mode/Sentry mode) による不正 AP/クライアント検出 および脅威の緩和 (Threat Mitigation)
	ゲストサービス	キャプティブポータル (ゲストモードおよび Web 認証モード、HTTP リダイレクト、スループット/通信量制限)
	管理機能 <sup>※11</sup>	Web GUI (HTTP/HTTPS)、SNMPv1/v2c/v3、SNMP MIB (Private MIB)、ロギング (内部、Syslog)、 設定のバックアップとリストア、ファームウェア更新 (UWC、AP)、SNTP、 Network Visualization (最大240 マップ (16 グループ×15 マップ)) による無線 LAN のマップ監視、 Known Client のインポートとエクスポート
	冗長化	AP 側で最大4UWC システム指定および UWC クラスター、オートフェイルバック、マニュアルフェイルバック
	拡張性	管理 AP 台数ライセンス追加および UWC クラスター
パッケージ内容 <sup>※12</sup>	ライセンス証書 (ソフトウェア使用権許諾契約書)、DVD (インストーラー)、最初にお読みください、サポートサービスに関するご案内	

※1 CentOS 5.x が動作可能なハードウェアをご用意ください。

※2 1UWC で AP を 210 台動作させる場合の最低要件です。環境によってはこの要件以上のリソースを必要とする場合があります。

※3 Allied Telesis Unified Wireless Controller V.2.0.0以降のインストールDVDを使用してインストールしてください。

※4 容量可変 VHDX (BlockSize 1MB) 以外は、「Hyper-V マネージャ」で作成できます。

容量可変 VHDX (BlockSize 1MB) は、「Windows PowerShell」で、次のコマンド「New-VHD -Path 仮想HDDファイル名.vhdx -Dynamic -SizeBytes 60GB -BlockSizeBytes 1MB」を実行することで作成できます。

※5 弊社動作確認済みサーバー (機種: Dell 社 PowerEdge R210 II) とサーバーへのインストールを含む「初期セットアップサービス」もご提供しております。  
本サービスの詳細は弊社営業までお問い合わせください。

※6 弊社製品 AT-TQ2450/AT-TQ3200/AT-TQ3400/AT-TQ3600/AT-TQ4400/AT-TQ4400e/AT-TQ4600の機能です。これらの詳細につきましては弊社ホームページを  
ご覧ください。

※7 5GHz帯のW52/W53チャンネル帯は電波法により屋外での使用が禁止されています。屋外では、必ずW56チャンネル帯をご使用ください。  
また、IEEE 802.11aは従来のチャンネル帯J52をサポートしておりません。J52のみを使用した無線LAN機器とは通信できませんのでご注意ください。

※8 表示の数値は、無線LAN規格上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※9 導入時のサイトサーベイ試験は必ず実施してください。実施されていない場合、サポートをお受けできない場合があります。

※10 Wireless Intrusion Detection System

※11 トラップ情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※12 追加ライセンスのパッケージに、DVDと「最初にお読みください」は含まれません。

# Allied Telesis Unified Wireless Controller

## 製品ラインナップ

コードNo.	製品名	製品概要
90791	AT-UWC-BaseST	基本パッケージ(ソフトウェア本体および管理AP数10台までの基本ライセンス)
90791W1	AT-UWC-BaseST-W1	基本パッケージ(ソフトウェアダウンロードサービス1年付)
90791W5	AT-UWC-BaseST-W5	基本パッケージ(ソフトウェアダウンロードサービス5年付)
90792	AT-UWC-10-Lic	管理AP数10台追加ライセンス※ <sup>1</sup>
90792W1	AT-UWC-10-Lic-W1	管理AP数10台追加ライセンス(ソフトウェアダウンロードサービス1年付)※ <sup>1</sup>
90792W5	AT-UWC-10-Lic-W5	管理AP数10台追加ライセンス(ソフトウェアダウンロードサービス5年付)※ <sup>1</sup>
90793	AT-UWC-20-Lic	管理AP数20台追加ライセンス※1
90793W1	AT-UWC-20-Lic-W1	管理AP数20台追加ライセンス(ソフトウェアダウンロードサービス1年付)※ <sup>1</sup>
90793W5	AT-UWC-20-Lic-W5	管理AP数20台追加ライセンス(ソフトウェアダウンロードサービス5年付)※ <sup>1</sup>
90794	AT-UWC-50-Lic	管理AP数50台追加ライセンス※1
90794W1	AT-UWC-50-Lic-W1	管理AP数50台追加ライセンス(ソフトウェアダウンロードサービス1年付)※ <sup>1</sup>
90794W5	AT-UWC-50-Lic-W5	管理AP数50台追加ライセンス(ソフトウェアダウンロードサービス5年付)※ <sup>1</sup>
90795	AT-UWC-100-Lic	管理AP数100台追加ライセンス※1
90795W1	AT-UWC-100-Lic-W1	管理AP数100台追加ライセンス(ソフトウェアダウンロードサービス1年付)※ <sup>1</sup>
90795W5	AT-UWC-100-Lic-W5	管理AP数100台追加ライセンス(ソフトウェアダウンロードサービス5年付)※ <sup>1</sup>
90796	AT-UWC-200-Lic	管理AP数200台追加ライセンス※1
90796W1	AT-UWC-200-Lic-W1	管理AP数200台追加ライセンス(ソフトウェアダウンロードサービス1年付)※ <sup>1</sup>
90796W5	AT-UWC-200-Lic-W5	管理AP数200台追加ライセンス(ソフトウェアダウンロードサービス5年付)※ <sup>1</sup>

※1 AT-UWC-BaseSTが必ず必要です。追加ライセンスだけではご利用いただけません。

**安全のために**  
ご使用の際は製品に添付されたマニュアル  
をお読みになり正しくご使用ください。

●CentreCOM, CentreNET, SwitchBlade, TELESYN, AlliedView, VCStackロゴ, EPSRingロゴ, LoopGuardロゴ, PoE plusロゴ, AT-UWC, Allied Telesis Unified Wireless Controller, SecureEnterpriseSDNロゴ, AT-VA, AT-Vista Managerはアライドテレシスホールディングス(株)の登録商標です。●Windows, Windows Server, Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他、会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。●お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規に厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。●弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

ネットワーク構築などのご質問やご相談は

☎ **0120-860442** テレマーケティング (月～金/9:00～17:30)

販売店

製品の詳しい情報は (特長、仕様、構成図、マニュアル等)

ホームページ <http://www.allied-telesis.co.jp/>

**アライドテレシス株式会社**

最寄りの営業所の連絡先は下記にてご確認ください

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル 弊社ホームページ≫会社案内≫事業所一覧